

ブリスコラ、ID 管理と API 管理の統合製品 「Briscola API Secure Gateway」を発表

～ OpenID Connect に準拠した IdP と API ゲートウェイを統合。
あらゆるデータやサービスへのアクセス権を管理し、高い安全性のもと
新たなサービス公開を支援する定額サブスクリプション製品を提供 ～

株式会社ブリスコラ(本社:東京都港区、代表取締役 末貞 慶太郎、以下ブリスコラ)は、API アクセスの認証認可を対象とした ID 管理製品「IDeagle(アイディーグル)」と、フルライフサイクル API 管理製品群「BAMs Series」の API ゲートウェイを担う「BAMs Gateway」の最新版を統合し、あらゆるデータやサービスへのアクセス権を管理し、API 管理と API の認証認可をワンストップで提供する「Briscola API Secure Gateway」(以下、BSG)の提供を開始することを発表します。

BSG を採用することで、はじめて API マネジメントを導入する企業においても、業界標準の OpenID Connect^{※1} に準拠した高セキュリティでの API アクセス認証と API 管理環境を、統一かつスムーズに導入することができます。これまで API マネジメントとは切り離して検討・導入をするケースが多かった ID 管理を、API マネジメントと同時に構築ことができ、それぞれの製品検討や POC の実施といった導入前段階から導入時の煩雑さを軽減し、迅速な API プラットフォーム環境構築を実現します。

BSG は、運用サポートサービスを含めた定額サブスクリプション製品です。「API アクセス数 無制限／月間アクティブユーザー数 上限なし」という製品の特性上、API マネジメント環境でのアクセス数やユーザー数によっては、従量課金の製品よりも導入時および運用時の両コストを抑えることができ、特に API を活用しているサービス事業の利用者数が多い企業ほど、大きな導入効果を楽しむことができるパッケージとなっています。

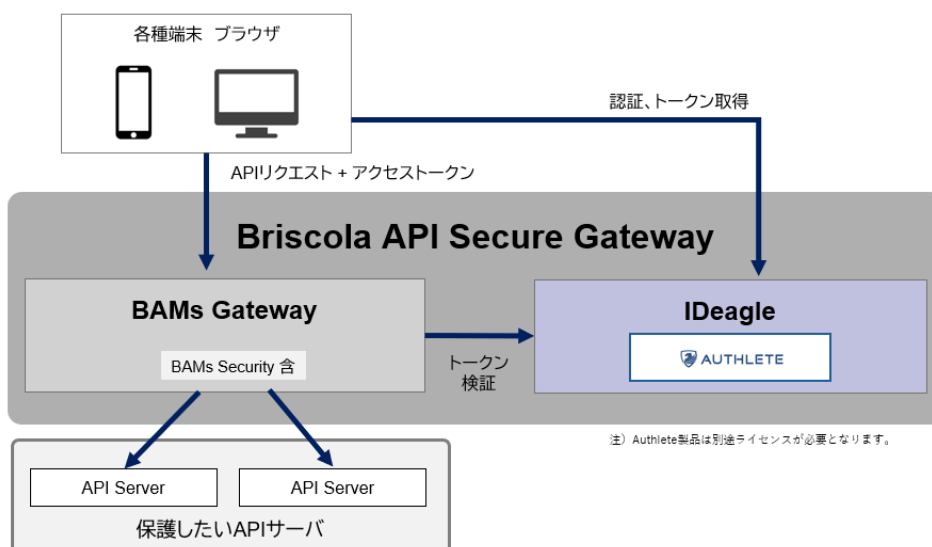


図1) Briscola API Secure Gateway システム構成図

■ 背景

多岐業種にわたる企業や行政サービスにおいて、新規事業やサービスを展開する上で API を活用したデータ連携が不可欠となっています。これらの新規事業・サービスの展開において、API 管理製品の検討段階から実際の導入までの期間を短縮し、いかに迅速な構築を実現するかが、事業収益にも関わる重要なポイントとなっています。さらに、API を活用する際の安全性にもフォーカスがあたっており、迅速かつ高い信頼性や高セキュリティを担保した API プラットフォーム環境を構築する必要性が重要視されています。

■ 統合製品 導入の意義

高い安全性のもと API マネジメント環境を構築する上で、API 管理と ID 管理の製品を個別で検討・導入するよりも BSG のような統合製品を採用することで、お客様側の検討・導入期間や導入時のリスクの軽減、さらに費用面のメリットにもつながります。データ量が増えることで API 数やユーザ ID 数が増加することが想定されますが、BSG は定額サブスクリプション製品のため、システム環境および費用面においても変化なく導入することができ、事業収益にも有益な結果をもたらす製品として展開をしていきたい考えです。

■ Briscola API Secure Gateway 製品構成について

● バックエンドに Authlete を採用し、高セキュリティ環境を実現する IdP 製品 「IDeagle」

「IDeagle」は、API 公開時の認証/認可機能を共通化し、そこで統一した ID を使う仕組みを提供する製品で、API ゲートウェイだけでなく、オープン標準に基づいた堅牢な ID 管理を実現します。バックエンドに Authlete^{※2}を採用しており、OAuth 2.0^{※3}および OpenID Connect に準拠した高セキュリティ環境を、比較的小規模なオンプレミス環境でも低コストかつ迅速に実現することができます。

● API マネジメント製品 「BAMs Gateway」最新版

ブリスコラの提供するフルライフサイクル API 管理製品「BAMs Series」の中核製品である「BAMs Gateway」は、API ゲートウェイとその管理コンソールの「BAMs Manager」で構成されています。さらに、BSG では各種プラグインとなる「BAMs Security」も含めての提供となっています。最新版の BAMs Manager は、各種機能強化が図られ、導入のしやすさとより高い操作性を兼ね備えたユーザインタフェースを提供し、API 管理の複雑さを軽減し効率性向上を実現しています。また、モードの設定変更により、複数認証との連動や運用性を高めるログ出力など、高度な API 管理設定も可能となっています。

※1 OpenID Connect OAuth 2.0 をベースとする、シンプルなアイデンティティ連携プロトコル。Web アクセスの認証/認可を制御するオープンスタンダード。

※2 Authlete 認証・認可技術の国際標準仕様である OAuth・OpenID Connect (OIDC) 実装ソフトウェアのリーディング・デベロッパー。OAuth 2.0 および OpenID Connect に基づく認可サーバの実装を迅速化・簡素化する API セキュリティコンポーネントを提供。

※3 OAuth 2.0 ウェブサイトまたはアプリケーションが、ユーザに代わって他のウェブアプリがホストしているリソースにアクセスできるよう設計された基準。

■ 株式会社ブリスコラについて

<https://www.briscola.co.jp/>（企業サイト） <https://briscola-api.com/>（API 事業専用サイト）

株式会社ブリスコラは、デジタルテクノロジーを活用した幅広いアプリケーションやサービスを実現するために重要となる API ソリューションに特化した事業支援会社です。フルライフサイクル API 管理製品「BAMs Series」、API アクセス認証を実現する IdP 「IDeagle」を自社開発し、API 管理に必要な機能を包括的に提供しています。また、API 利活用に関わるコンサルティングや API プラットフォームの構築支援等のエンジニアリングも提供しており、これまで多くの導入実績を有しています。

※記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【当製品に関するお問い合わせ先】

株式会社ブリスコラ 営業事業本部 電話：03-6441-2614 Mail：info@briscola-api.com

【当発表に関するお問い合わせ先】

株式会社ブリスコラ 広報部 電話：03-6441-2614 Mail：press@briscola-api.com